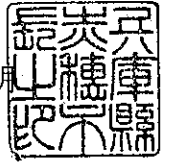




赤地土 第 121 号
平成 20 年 10 月 20 日

国土交通省道路局長 様

赤穂市長 豆田 正 明



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

貴職におかれましては、当市の道路行政に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます

さて、平成 20 年 9 月 19 日付け国道企第 37 号で依頼のありました標記のことについて、別紙のとおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

兵庫県赤穂市

道路特定財源の一般財源化に伴い、地方の道路整備の遅延が懸念されているため、地方道路整備臨時交付金制度を堅持して、地方の道路整備に必要な道路財源の確保をお願いします。

②-1 地域の現状と抱える課題

○ 現状

当市は、三方を山に囲まれ、南は瀬戸内海に面している。

昭和 57 年に山陽自動車道が開通して赤穂インターチェンジ

が設置され、市北部には国道 2 号が東西に、また南部には

国道 250 号が東西に広域幹線道路として機能し、本市と周

辺の諸都市を結んでいる。

○課題

市北部

東西軸のネットワーク強化(国道 2 号)

国道 2 号有年道路の整備促進、及び岡山県境までの 4 車線化の推進

市南部

相生方面のネットワーク強化(国道 250 号)

国道 250 号高取峠は、幅員が狭くカーブも多く道路形状が悪く、縦断勾配が大きいいため、トンネル化を図り、将来の需用増大に対応することにより、元来結びつきの強い相生方面とのネットワークの強化を図る。

広域幹線道路の整備

活力ある地域づくりや地域間交流の促進、災害・緊急医療施設への輸送路等、道路交通体系の整備は、重要性が増しているため、国道2号相生有年道路の整備促進、国道250号坂越道路(仮称・新坂越橋)の事業促進、並びに高取峠のトンネル化の実現を図り、機能的かつ有機的な広域幹線道路ネットワークを整備する。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

兵庫県赤穂市

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	<p>国道250号高取峠のトンネル化</p> <p>国道 250 号は、相生市と赤穂市をつなぐ重要路線であるが、高取峠は急勾配のうえ、延長約4.4kmに大小のカーブが続き、交通事故も多発しており、道路ネットワークの面で円滑な交流の妨げとなっている。(国道 250 号坂越道路の事業促進)</p>	<p>地域間交流基盤の確保、交通事故の削減、交通渋滞の緩和、災害時の緊急輸送の円滑化が図られる。</p>	